

平成 28 年度 保育所の自己評価の結果について

平成 29 年 3 月 31 日

ビーンズ保育園

1 本園の保育方針と園目標

保育方針…ひとりひとりのそのらしさを大切にし、ゆったりと安心できる環境の中で、子どもたちが夢中になって遊び、子どもの生きる力が十分発揮できるような保育活動を行う。

園目標…◎安心できる環境を用意し、情緒の安定と人への信頼感を育てる。

◎生活習慣を身につけるなかで、自立した生活能力と自信を養う。

◎遊びを通して、想像力、表現力、他者を思いやる心を養う。

◎保護者と園との信頼関係に基づき、子育てのパートナーシップを築く

2 平成 28 年度の主な課題

1. 保育所保育指針、園の保育課程をもとに、子どもたちが安心できる保育環境、子どもたちひとりひとりに目を向け、それぞれが生きる自信を持てるような保育内容の実践につとめます。
2. イベントについては、子ども達に無理なく、また保護者も参加しやすい時期や内容、回数を再検討していきます。
3. 異年齢の保育、年度末や就学前のアプローチ保育を取り入れ、集団が持つ良い側面を普段の生活に取り入れ、子どもの成長につなげていきます。
4. お年寄りをはじめ、他世代との交流を意識的に行うため、地域の福祉施設と共同した取り組みを行います。
5. 地域育児支援については、一時保育をはじめ、園庭開放、育児講座、交流保育を実施していきたいと思えます。

3 取り組み状況

1. 保育士のアンケートにもあるように、子どものたちひとりひとりに目をむけ、安全、安心な保育環境を整え、発達にあわせた遊びを提供しながら、子ども達自身が自信をもって成長できるような保育を、おおむね実践できた、と思えます。
2. 保護者との全体・クラス懇談会は年に 2 回、個別懇談会は 20 回行いました。フェスティバル（運動会）、三ッ池公園ハイキングなどのイベントでは、大勢の保護者サポーターのご協力をいただきました。
3. 朝や夕方の時間帯には、クラスを超えた自由遊びを行い、年齢をこえた生活を送ることができました。小学校進学にむけた、アプローチカリキュラムでは、自然観察、梅干し作り、言葉あそび、さ織り、自画像、習字などを通し、幅広く興味関心を広げていく取り組みをしました。

4. 七夕まつり、ひなまつりでは、ケアプラザご利用のお年寄りをお招きしたり、敬老の日には、園児が訪問をするなどの取り組みをしました。

5. 昨年に引き続き、地域子育て支援事業を行いました。園庭開放を12回、育児講座3回（絵本、食育、手作りおもちゃ）、交流保育3回（七夕、お店屋さんごっこ、ひなまつり）を実施しました。また、鶴見中央ケアプラザにおいて、他の近隣保育園と協働し、年に3回の地域育児イベントを担い、乳児食に関する相談を主に栄養士がお受けしました。絵本の貸し出し（まめ文庫）を本年度からスタートさせました。とても好評で、貸し出し冊数は1,138冊にのびりました。園への見学、入園相談は200件を超えました。一時保育は、緊急一時型、非定型をふくめ、延べ131名を受入れし、昨年度の課題は達成しました。

4 保護者アンケートより

（ふれあいフェスティバルについて）

- ・家庭と異なり、集団でのこどもの頑張りや成長がわかり、うれしかった。
- ・終了後のクラスごとの集合写真を撮ってほしかった。

（誕生会に参加して）

- ・保育園で普段、どんな風に過ごしているのかが分かって良かった。
- ・成長を、親子で一緒に楽しめるのは、とても良かった。

など、主な行事で多くのご感想、ご意見をいただきました。

5 次年度の課題・改善点

・引き続き、ひとりひとりの子ども達の日々の遊びや成長をていねいに見守る保育を続けたいと思います。

・一時保育は、乳児の受入れを増やしたいと思っています。

・本年度から始まった、地域子育て支援事業ですが、次年度は、貸出し絵本事業を実施していきます。

